

2023年までの目標

1,600人 外国人留学生数

外国人留学生数を1,600人(対全学生比率約16%)に引き上げます

50% 英語による
教養教育科目数

教養科目における英語による教養教育科目の導入率を50%に引き上げます

90コース 外国語のみで
卒業できるコース数

外国語のみで卒業できるコースの数を90コース(対全卒業コース設置数比率約50%)に引き上げます

500人 熊大グローバルYouth
キャンパス事業参加者数

熊大グローバルYouthキャンパス事業参加者数を500人に引き上げます

10コース 海外連携教育コース数

海外連携教育コースの数を10コースに引き上げます

1,200人 留学経験者数

留学経験者数を1,200人(対日本人学生比率約14%)に引き上げます

1,550科目 外国語による
授業数

外国語による授業数を1,550科目(対全授業科目比率約17%)に引き上げます

1,150人 外国語力基準を
満たす学生数

外国語力基準*を満たす学生数を1,150人(対全学生比率約12%)に引き上げます
*TOEFL®-iBT80点(TOEFL®-PBT550点)以上、IELTS6点以上

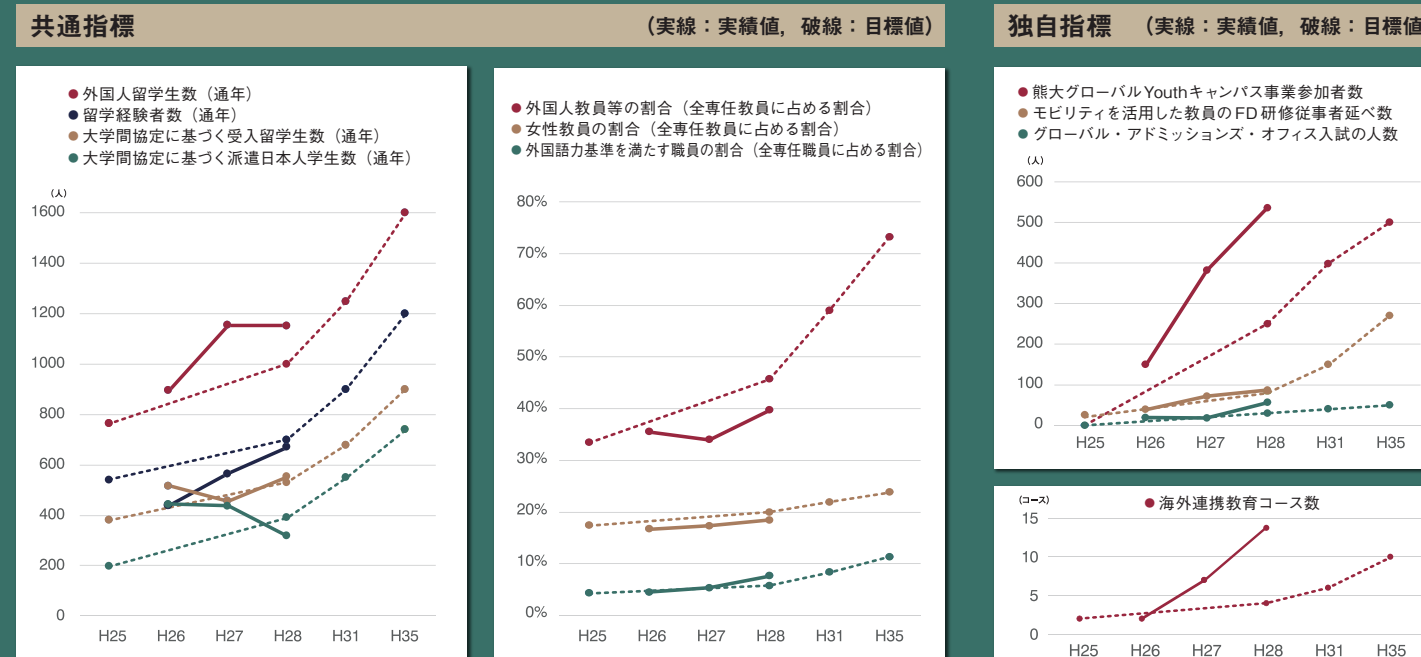
335人 混住型学生宿舎に
入居している日本人学生数

混住型学生宿舎に入居している日本人学生数を335人(対全日本人学生比率約4%)に引き上げます

770人 外国人教員等の数

外国人教員等の数を770人(対全専任教員比率約73%)に引き上げます

主要目標の達成状況



	外国語による授業科目数	ナンバリングを行っている授業科目数	シラバスを英語化している授業科目数	奨学金支給の入学許可時の伝達数	混住型学生宿舎に入居している留学生数
H27	471科目	0科目	1,413科目	304	1人
H28	613科目	3,759科目	3,116科目	306	121人
H31	980科目	7,487科目	7,992科目	330	30人
H35	1,550科目	8,797科目	9,222科目	400	50人

※H27,H28は実績値, H31,H35は目標値

Top Global University Project

スーパーグローバル大学創成支援

国立大学法人熊本大学
グローバル推進機構
〒860-8555
熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
TEL: 096-342-2131
E-mail: kusgu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp>

2018年3月 第1版

地域と世界をつなぐグローバル大学 Kumamoto

熊本大学は、H26年度に創設された文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択されました。本学が掲げる「地域と世界をつなぐグローバル大学 Kumamoto」構想は、様々な教育改革によって真のグローバル大学への変貌を目指し、地域のグローバル化を牽引するとともに、世界に伍する研究拠点大学として地域に貢献します。

熊本大学が目指すグローバル大学像

国際通用性の高い学部教育システムの導入

グローバル教育カレッジが中心となって、英語による授業科目の提供や学部専門課程におけるグローバル教育を支援します。

取り組み

- ・グローバルリーダーコース拡充による本学独自のグローバル人材育成
- ・海外留学の多様化と充実による日本人学生のグローバルな成長
- ・学事暦の柔軟化等による教育システムの国際通用性の向上

世界から留学生が集うグローバル環境の提供

日本語・日本文化を学ぶ外国人留学生に対し、より質の高い教育カリキュラムを提供し、留学生の受入を促進します。また留学生に対するライフサポートを行います。

取り組み

- ・独自コース展開による国際通用性の高い教育の提供
- ・オフショア教育の提供による留学生サポートの充実
- ・海外AO入試等の提供によるグローバルかつ多様な入試
- ・渡日から卒業・修了、就職までのシームレスな外国人留学生サポートの提供

世界最先端の研究を支える大学院教育のグローバル化と先鋭化

海外の大学とダブルディグリーや国際共同研究をベースとしたレベルの高い海外連携教育プログラムを提供します。

取り組み

- ・先端研究機構の主導による教育研究の高度化
- ・海外拠点等の拡充による教育研究のグローバル化
- ・欧米、ASEAN、アフリカ等の重点地域との戦略的連携
- ・海外連携教育（ダブルディグリー、単位互換等）の拡充

世界に開かれた地域づくりを牽引するグローバルキャンパスの提供

「熊大グローバルYouth キャンパス事業」を実施し、地域の高校生や高専生に早期のグローバル教育の機会を提供します。

取り組み

- ・熊本の「特色」を生かしたグローバルな教育研究拠点の充実
- ・地域のグローバル化・多文化共生の浸透と地域活性化
- ・高大連携と早期グローバル教育の充実

グローバル教育環境整備
グローバルキャンパス提供

地域と世界をつなぐグローバル大学



48人 グローバルリーダーコースの開講

グローバルリーダーコース入学者数 (H29年度)

学部教育のグローバル化を推進するため、既存の4学部（文・法・理・工）にグローバルリーダーコースを設置し、H29年4月に開講しました。H29年度は48人が入学し、H30年度は43人が入学予定となっています。グローバルリーダーコースは、本学の前身である旧制五高の伝統と精神を受け継ぐ「GOKOH School Program」を中心とし、より深い教養と世界レベルの広い視野を身に付け、21世紀のグローバル社会を運ん生き抜くグローバルリーダーを育成するコースとなっています。



903人 グローバル教育の展開

英語による教養教育科目受講者数 (H29年度)

H29年度から、全学の教養教育に留学生と日本人学生が英語で学ぶ科目区分「Multidisciplinary Studies」を新設し、外国人教員が中心に担当する英語による授業科目14科目 26テーマを開講し、延べ903人が受講するなど国際基準のリベラルアーツを中心とする教養教育に改編しています。



918人 熊大グローバルYouth キャンパス事業の多彩な展開

熊大グローバルYouth キャンパス事業参加者数 (H27・H28年度)

地域の高校・高専生等を対象に、大学入学前に様々なグローバル教育の機会を提供し、グローバル交流に対する関心や理解を深め、大学のグローバル教育に興味を持つようなプログラムやイベントを積極的に展開しています。「留学生とMeet&Greet」（高校生と留学生の交流）など、学内で実施する様々な行事のほか、SGH・SSH 採択校をはじめとした地域の高校・高専に本学の外国人教員や留学生を派遣し、多彩なプログラムを実施し、H27年度は382人、H28年度は536人が参加しました。



短期受入プログラムの充実

グローバル教育カレッジでは、本学の海外交流協定校に在学する学部学生を対象に日本語と英語によるサマープログラムとスプリングプログラムを実施しています。日本の生活や文化に関する本学の講義受講をはじめ、着付けや和菓子作りなどの日本文化体験、熊本城や阿蘇への実地見学など、短期の日本滞在を通して、日本の良さ、地域社会との文化交流、そして本学の留学生としての生活を体験する機会を提供することを目的としています。H28年度のサマープログラムには日本語・英語それぞれのプログラムに、合計99名の参加がありました。



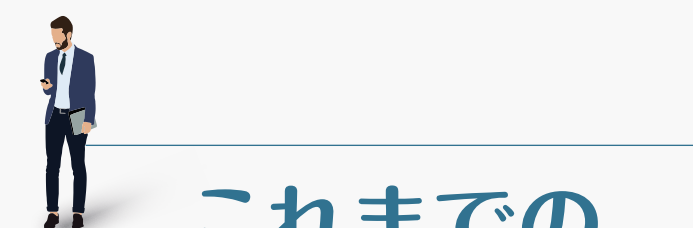
海外語学研修プログラムの拡充

夏季・春季休暇を利用して海外の協定校等へ学生を派遣する海外語学研修の派遣先の拡充を行うとともに、内容の差別化を図り、学生に多様な留学の機会を提供しています。派遣先としてモンタナ州立大学（米国）、アルバータ大学（カナダ）、リーズ大学（英国）、フライブルク大学（ドイツ）、ニューカッスル大学（オーストラリア）など、欧米、東南アジア等の協定校を研修先として企画し、学生に語学のみではなく、各国独自の文化に触れる場を提供しています。

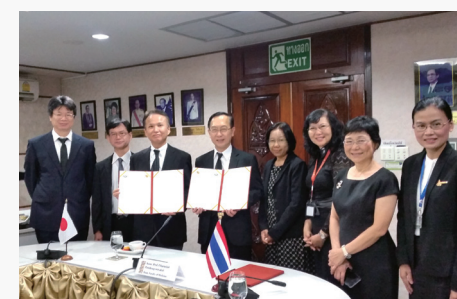


グローバル教育推進のためのFD研修

グローバル科目など英語による教育に取り組む教員支援のため、海外交流協定校への教員派遣型の研修をはじめ、海外大学からの講師招へい型の研修等を実施しています。参加者は、英語で効果的に教えるための授業での有効な英語表現や、英語による対話型（相互作用的）教授法、アクティブラーニングの概念・スキル、学生に対する返答、クラス内議論のマネジメント等を学んでいます。



これまでの取り組み



海外連携教育プログラムの拡充

海外交流協定校を開拓・活性化し、日本人学生に対するグローバル教育環境の整備・強化、海外からの優秀な外国人留学生確保など質の高い学生交流の枠組みを開発・確立するための取り組みとして、ダブルディグリープログラム15コースを締結し、学生交流を行っています。



教育のグローバル化への制度整備

柔軟な学事暦により日本人学生の海外留学、外国人留学生の受入の拡大を促進するため、H29年度から全学共通教育においてクォーター制を導入し、並行して学部専門教育への導入を進めています。また、授業科目にナンバリングコードを付番して、各教育プログラムにおけるカリキュラムの体系的性を明示し、ナンバリングコードをシラバスシステムに反映しています。さらに、教育システムの国際通用性の向上のため、海外からも閲覧することができるシラバスシステムの運用を開始しました。Web上で英語版シラバスが公開されることで、本学から海外の大学へ留学する場合、また、海外から本学へ留学する学生の履修指導や単位認定に活用することが可能になりました。



職員の国際業務スキル向上研修

事務職員のグローバルなスキルの高度化に向けた研修として、通学型語学研修（半年間）、テーマ型のビジネスライティング研修、異文化コミュニケーション研修を開講しています。また、実践力を高める海外派遣型の研修を行い、英国グラスゴー大学等において、自らの企画に基づくインタビュー型研修（4週間）、フィリピンにおける英語研修（2週間）、海外留学フェア等での業務研修へ事務職員が参加しています。その他、e-learning型TOEIC講座、TOEIC試験の受験補助等により、外国語力基準（TOEFL iBT80点相当以上）を満たす職員数の増加を目指しています。

グローバル化の全学推進体制

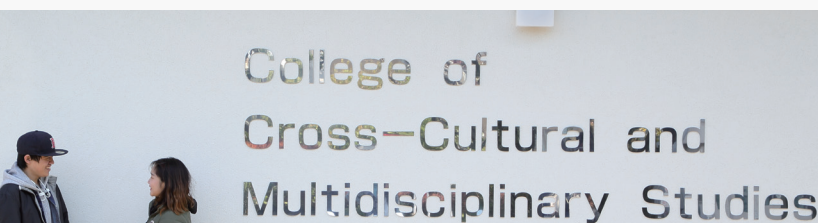
(H30年4月～)



969人 グローバル教育カレッジの創設と様々なグローバル交流活動

グローバル教育カレッジ主催活動の合計参加者数 (H28年度)

本学の教育のグローバル化を先導する目的で、H27年3月にグローバル教育カレッジを創設しました。英語による教養教育科目の実施のほか、学生の英語力向上のための授業外英語活動「English-TALKmon」を運営し、年間520人の学生が参加しました。また、学生の海外留学促進のための英語力強化プロジェクトであるIELTS 講座を実施し、H28年度は85人が参加しました。グローバル教育カレッジでは、外国人を含む地域市民に向けた活動もっており、1年間で総計364人（外国人41人）の参加があり、地域コミュニティの多文化共生に貢献しています。



グローバル教育カレッジ棟

H28年4月に本学の黒髪北キャンパスに「グローバル教育カレッジ棟」がオープンしました。グローバル教育カレッジ棟には、4つの教室と日本人学生と留学生の交流の場となるラウンジがあります。

Multidisciplinary Studies の授業のほか、在学生の英語力向上を支援する授業外活動「English-TALKmon」や、地域の高校生や高専生等に大学入学前に国際的に学べる環境を提供する「熊大グローバルYouth キャンパス事業」のイベントなどを実施しています。

